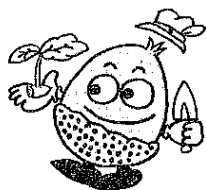


# ネイチャークラブ会報

SINCE 1996



JREU



第 192号

発行日：2022年12月26

発行責任者：西垣 栄義



## JR 東労組盛岡地本ネイチャークラブ 第24回総会開催

盛岡地本ネイチャークラブ 目時伸也



盛岡地本ネイチャークラブは11月13日、盛岡地本・こぶし会館にて「第24回盛岡地本ネイチャークラブ総会」を開催しました。コロナ禍で3年ぶりの総会となり、各支部の田畑運動や地本の蕎麦づくりができない中でしたが、先月開催した「本部ネイチャークラブ第26回総会・例会」に参加しての感想や、組織拡大・再加入の取り組みにサークル活動を通じてどう創り出していくかなど発言がありました。また、来賓として本部ネイチャークラブの西垣部長よりあいさつがあり

「第26回本部ネイチャークラブ総会・例会開催、参加へのお礼、年末手当のたたかい、大宮での職場問題・たたかいの報告」がされました。

盛岡地本ネイチャークラブといえば…、そう、美味しい食材です。毎年春に開催する「山菜祭り」では、前日または当日に山に分け入り採った山菜を天ぷらや和え物、煮物にして美味しくいただきます。例年であれば春から夏にかけて蕎麦の種まきをし、草取り、収穫・製粉して、秋の収穫祭にて参



んと増え、東労組で策定した新型コロナウイルス感染症に対するガイドラインを遵守し、感染対策をしっかりとしたうえで今年は開催しよう！と幹事会で決定し、5月には3年ぶりの地本山菜まつり、そして本部ネイチャークラブ総会・例会を盛岡・八幡平の地で開催してきました。

そして迎えた秋、本来なら収穫したそばを打っての収穫祭・・ですが、今年は第7波の影響でそばを植えることができませんでした。「総会のみ開催」「そば粉を買ってでも打ちたい」「感染対策を十分にできるか」幹事会で議論を重ねてきました。

「そばは無くても、美味しいきのこがあるじゃないか！」

これまで山菜まつりや秋のそば打ち収穫祭でその腕を振るっていただいている「シェフ岩崎」こと幹事の岩崎幸夫さんの声が決め手となって、今年は総会後の懇親会できのこメインの手づくり懇親会に決定しました。

自然の恵みを美味しくいただく瞬間こそ、「ネイチャークラブ活動してるなー」って思う参加者も多かったと思います。ですが今、ロシアによるウクライナ侵攻で小麦をはじめとした食糧価格の高騰が止まりません。富める国、富裕層はそれでもお金を出して食料を買い求めますが、貧困にあえぐ国、世界中の貧しい多くの市民は今を生きることに必至で「食事を楽しむ」余裕などありません。戦争が当事者ではない多くの人々も巻き込んで幸せを奪い続けている現実もしっかりととらえていかなければならないと感じました。